

令和6年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (令和 年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	①生徒の知的好奇心を喚起し、思考力・判断力・表現力を高めるとともに、探究する力を育み、希望進路を実現する教育課程編成や組織的な授業研究・実践に取り組む。 ②学校行事や生徒会活動等における生徒の主体的な取組の促進を図る。	①新教育課程4年目以降を見据えて、希望進路を実現する教育課程編成の見直しを行う。一人1台端末の有効的な活用方法について研究する。 ②学校行事を通して、主体的に考え行動する力と、コミュニケーション能力を伸ばす。	①教育課程研究委員会を開催して教育課程の課題を洗い出し、令和7年度入学生に向けた見直しを行う。授業研究・校内研修を充実させ、一人1台端末の有効的な活用方法の共有を図る。 ②学業等との両立ができる環境を作り、生徒が主体的に学校行事等に取り組む力を育む。	①希望進路の実現に十分な教育課程となっているか検討する。生徒による授業評価により、一人1台端末の活用に対する満足度を図る(60%以上) ②学校行事等で主体的に計画・実行し問題解決をする生徒が増えたか。					
2 (幼児・児童・) 生徒指導・支援	①多様な生徒の個に応じた支援体制の充実を図る。 ②個性を重んじるとともに、他者への共感力と協働的な行動を尊ぶ姿勢を育成する。	①生徒の多様性を尊重し、教育相談の支援体制の理解を深め個々の情報を共有するための効率的なシステムを構築する。 ②部活動等を通して、自己の可能性に自ら挑戦する力や、他者と協働する力を育む。	①SC、SSWとの詳しい情報をコア会議やケース会議で共有するなど関係職員へ迅速に周知し有効活用する支援体制の充実を図る。 ②学業との両立を図りつつ、生徒の満足度の向上を目指す。	① SC、SSWとの情報交換を密にし、支援の必要な生徒に対し情報共有を迅速に行う支援体制を充実させ、課題解決につながったか。 ②目標達成のための部活動の方針に即した客観的な指導体制が確立できたか。生徒の部活動満足度が向上したか。					
3 進路指導・支援	・生徒が自らの資質・能力の向上を自覚できる進路指導を実践し、生徒の「挑戦」を支援する。	・高い目標を持って生徒が「挑戦」し、希望の進路を実現できるよう組織的取組の推進を図る。	・生徒の希望をもとに目標指標を定め、Classiの効果的な活用、外部模試、進路講演会、保護者向けの情報発信を行い、生徒が高い目標に挑戦できるよう組織的に取り組む。	・自らの進路活動に満足したかどうか。 ・進路未決定者が10%未満かどうか。 ・模試の定点観測を行い学力が向上しているか。					
4 地域等との協働	・主体的な諸活動により地域社会との協力関係を築く過程で、地域に開かれ、地域に貢献する学校づくりを推進する。	・地域社会と交流する機会を積極的に設定し、学校行事等の情報を広く発信することで地域に開かれた学校を目指す。	・ホームページに掲載する動画を活用した学校行事等の紹介や、定期的実施する地域の清掃活動・防災への取り組みを通して、地域との交流の機会を設ける。	・地域社会との積極的な交流が計画通り実施できたか。 ・情報媒体を活用した地域社会への発信が計画の通り実施できたか。					
5 学校管理 学校運営	①学校施設・設備の管理、校内美化に取り組む。 ②事故なく、効率的な働き方を推進する。 ③外部に対する情報発信を充実させる。	①校内美化に取り組み学習環境を整える。 ②不祥事防止研修を充実させるとともに、働き方改革を推進する。 ③適切な学校情報を発信する。	①日常的に清掃活動に取り組み、学習環境を整える。 ②不祥事防止研修を通して事故防止の意識を高めるとともに、働き方の改善を行っていく。 ③学校説明会等を充実させ、ホームページの更新に努め、本校の魅力や特徴がより伝わるように改善に努める。	①清掃活動を通して、学習環境を整えることが出来たか。 ②アンケートにより、不祥事防止の意識が高まったか。時間外勤務が昨年より減少したか。 ③学校説明会等を通じて、本校の魅力を十分に発信できたか。アンケートによる満足度が7割以上を維持できたか。					

